

タイトル：

会社名：

氏名：

出身国：インドネシア

日本に生るる3年目のすゝ木

0.7

思っています。

ネシアの低い賃金では夢がかなえることは難

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 達成感とやりがいを与えてくれた瞬間

会社名: 北川組鉄工所 氏名: アナンダ プラセティヨ アジ 出身国: インドネシア

しじのがげんじょうです。だから夢をかなえる
ために外国で働きながら技術を学び、お金
を貯めようと決意しました。
インドネシアにいる時から日本の建設会社
は「安全に、正確に、長く使える」建物を作
ることを知っていました。日本の建物づくり
は、一つひとつの作業に意味があり、ていね
いに建物をつくります。一人ひとりが高い労
働倫理とプロフェッショナリズムを持ち、規
律を重んじながら働く日本人の働き方と高い
技術を学べたいと思い日本を選んだのです。
そして幸福にも日本に来ることができ、今
は北海道の北川組鉄工所で溶接作業員として
働いています。毎日工場で溶接の作業をして
、建物を支える柱を作っています。日本に来
てから仕事になれるまでとても苦労しまし
た。人の名前を覚える、場所の名前を覚える
、工具の名前や使い方を覚えるなど、覚える
ことが沢山あって頭がパンクしそうでした。

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 達成感とやりがいを与えてくれた瞬間

会社名: 北川組鉄工所 氏名: アナンダ プラセティヨ アン 出身国: インドネシア

言語のガベガ文化のちがいにとまどいまして、
たが、気候になれることもとても大変でした。
インドネシアでは雪がふりません。だから
北海道ではじめて雪を見たとき、本当にかん
どうしました。とても美しく何時間でも見て
いる事ができました。
でも北海道はさむすぎます。今では、雪は
大変なものだと思っています。ちょっと嫌い
です。
寒いし、滑るし、重たい。「雪かき」がし
ないと家にも入れない。仕事もできません。
でもれば雪は降らないでほしいと思うよう
になりましたが、その気持ちで会社の人に話
をしたとき、「雪は大変だと思ったら、『で
さんご』の仲間入りだね」と言われました。
『でさんご』とは、北海道の人という意味
です。その言葉を聞いて、私はとてもうれし
く思いました。私はインドネシア人でありな
がら、『でさんご』にもなることができたの
です。

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 達成感とやりがいを与えてくれた瞬間

会社名: 北川組鉄工所 氏名: アナンダ プラセティヨ アジ 出身国: インドネシア

日本に来て2年が過ぎました。私の仕事の意味を理解し、大きなやりがいを見つけるところがでもた出来事が最近ありました。札幌に連れて行ってもらい私たちが作った柱が入っている建物を見たのです。その建物にはいくつもの会社があり沢山の人が働いていました。買い物をする場所や食事をする場所があり、楽しそうな人も沢山いました。私たちの柱が支えている建物はこれから沢山の人が生活する場所になることを実際に見て感じることでしたのです。

私は自分の夢やインドネシアの未来のために日本へ来ました。夢をかなえるためのお金をたたくまえ、技術を学ぶために来たのです。

それは今でも変わりません。でも、今、私はこう思います。

私たち技能実習生も『日本の未来』と一緒に作っているのです。あこがれの国の未来を自分たちも作っている。それはすごくあこがれでエキサイティングなことです。

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 達成感とやりがいを与えてくれた瞬間

会社名: ~~北川組鉄工所~~ 氏名: アナンダ プラセティヨ アジ 出身国: インドネシア

最初は自分の夢をかなえたいと思い仕事を
がんばりましたが、今は夢をかなえるためた
けではなく、日本の人たちのためにも、日本
の未来のためにも、一生けんめい良い製品を
作れるようがんばりたいと思いますようになっ
たのです。

私は『Kegigihan adalah kekuatan』という言葉が好き
です。日本にも『継続は力なり』と言う同じ
意味の言葉があります。これはなまらめずに
努力すれば必ず成果につながる。継続こそ成
功の力ぞという意味です。

これまで決して簡単な道ではありません
でしたが遠くからいつもはげましてくれる両
親、困った時に助けてくれる技能実習の先輩
方、そして温かく迎え入れ指導して下さった
会社の皆と主のおかげでなまらめずにのりこ
えることができました。夢をかなえるにはほ
だ沢山のしんどいことがあると思いますが、『継続
は力なり』を信じてがんばります。

タイトル: 達成感とやりがいを与えてくれた瞬間

会社名: 北川組鉄工所 氏名: アナンダ プラセティヨ アジ 出身国: インドネシア

もっと成長が出来るよう努力し、国に帰る
ときにはインドネシアのすばらしい未来を作
るために帰ってまた自信を持って言えるよ
うこれからもがんばります。

ごせいちょう、ありがとうございました。